

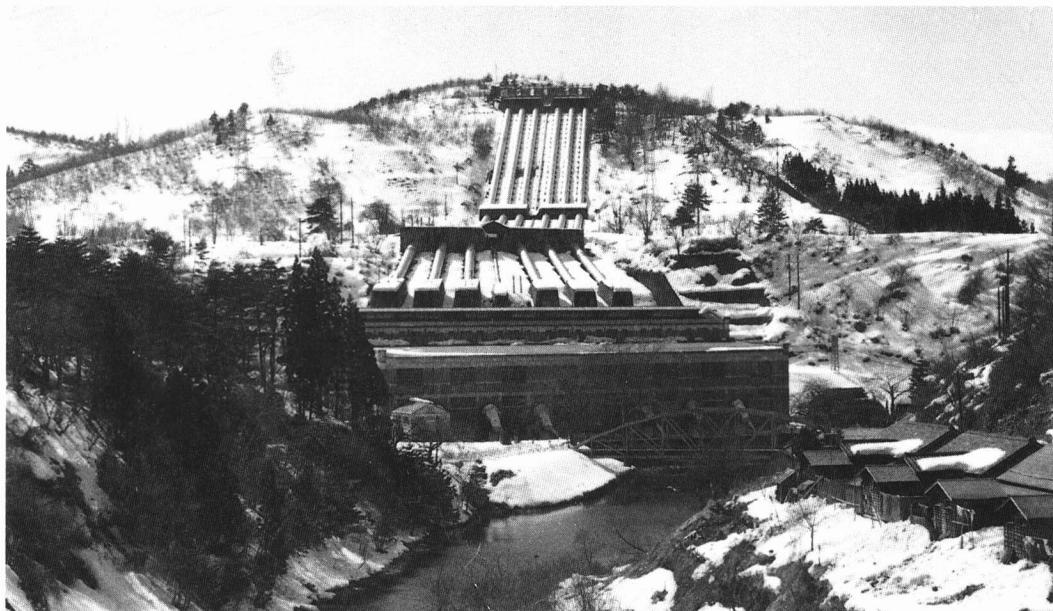
6 磐梯町の会社・工場

(1) 最初にできた猪苗代第一発電所

電気は人々に明るい光をくれます。電気を利用して工業製品をつくることもできます。

1911年（明治44年），日橋川の水を利用して電気をおこす会社ができました。発電所をつくるために，大寺駅（いまの磐梯町駅）から線路が引かれ，会社の事務所や倉庫，職員の住宅などがたくさんできました。

そして，1914年（大正3年）9月，当時としては世界でも大きい発電所が完成したのです。これが猪苗代第一発電所（いまの東京電力発電所）です。続いて，日橋川にそって第二，第三，第四と発電所がつくられていきました。



猪苗代第一発電所